

# 市Pたより「かけはし」

夏の暑さがうそのように朝夕冷え込んできました。季節は正直ですね。コロナ情報に一喜一憂する日々が続きますが、今だからできることもありそうです。今年度も何か、思い出に残る年であれたらと念じております。

## ○ いじめ防止標語コンテストにご応募ください・・・

今年で14回目となる全国規模のコンテストです。開催縣市（熊本市Pからも）から必ず選ばれる、全国賞の小中学生1名ずつとご家族計4名が、東京での授賞式に招待されます。市Pは参加し始めてから5回目となり、これまで計6組のご家族が東京での授賞式に臨まれました。（昨年度末（今年3月）はコロナ禍のため式自体が中止）

各学校での取り組みには、学校との連携が不可欠です。今年も先生方に協力を依頼される際の手順（参考案）を参考までにまとめ、添えました。各単Pからの多くのご応募をお待ちいたしております。

締め切りはまだ先ですが、早めのご応募も大歓迎です。各校でおおよそ2割程度に選考したあと提出いただければ幸いです。 ~R3.1/15（金）

## ○ CPプラン2次募集期間中です・・・（9/15付第42号）

コロナ禍の中ではありますが、例えば、活動がしにくいこの機会に「CP読書プラン」を利用して子どもたちのために本を買おうか、などご検討・ご応募ください。ご相談等もどうぞ。 ~10/23（金）

## ○ 11/2（月）市教委主催あいさつ運動にご協力を・・・

熊本市教育委員会では平成19年度から、11月を「熊本市心かがやけ月間」として、子どもたちの心を育む様々な取り組みをしておられます。この期間各学校では、例えば親子道徳教室や道徳の授業参観があったり、PTAや地域と連携したあいさつ運動をされたりしています。この運動のスローガンは「大人の責任 みんなで育てよう 熊本の子どもたち」というものです。

各学校から参加依頼等がございましたら、どうぞご協力ください。ちなみに、2学期・3学期始業式朝に実施のあいさつ運動、こちらは市P主催で、教育委員会の皆様にご協力をいただいているものです。

## ○ 歯と口の大切さを広めるボランティア「8020推進員」の募集・・・

「8020」とはずいぶん以前からあったキャッチコピーですが、今その大切さが再認識されてきたようです。子どもの頃から歯の健康を意識し、大事にしていきたいものですね。熊本市が地域の推進員を募集しておられます。皆さんいかがですか！

## ○ 10/10（土）「こどもの居場所につながる おやじの会

### ミーティング」がパレア会議室1で開催されました・・・

本来であれば、この日は「九Pくまもと大会」第1日目の7分科会が市内を中心に5会場で、翌11日（日）がグランメッセで全体会の予定でした。そして、九州各地から6,000名を超える参加者が各会場を行き交う姿がたくさん見られるはずでした・・・。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった3月、先行きが見通せない中、九Pを構成する8県・3政令市の会長さん方が協議し、最終的に中止の決定がなされたのが5/1でした。その後も県Pとの会合を重ねた結果、今大会のテーマや思いを記録として残すべく大会誌を作ろう、中でも熊本県P・熊本市Pが担当する予定であった特別分科会1と2を、小規模でも可能な範囲で実施しようということになったのです。

市Pが担当する特別分科会2のテーマは、「子どもたちの未来：大人が支える子どもの居場所」です。おやじの会の活動はPTAや諸団体と連携したのも多く、子どもたちとの交流や防犯活動等多岐にわたり、気軽に参加できるのも特徴。おやじの会を知ることで今後のPTA組織や活動の見直しにつながり、ひいては子どもの居場所づくりにもつながるのではないかと提案のもと、各区からおやじの会のある学校とない学校計4校ずつが参加し、グループミーティングを行いました。

最後に、慈愛園里親支援専門相談員の田中一幸氏が、「家庭が孤立しないよう大人にとっても誰かに相談できる場所が必要。PTAは家庭と学校とをつなぎ、おやじの会は家庭と地域とをつなぐもの。それぞれがしっかりとつながっていくことが子どもの居場所づくりにも大切」とまとめられました。

大会誌は今年度中に発行し、九州・沖縄全ての学校に配付予定です。どうぞお楽しみに。



大会ロゴマーク

